

三重県における麻疹アウトブレイクについて

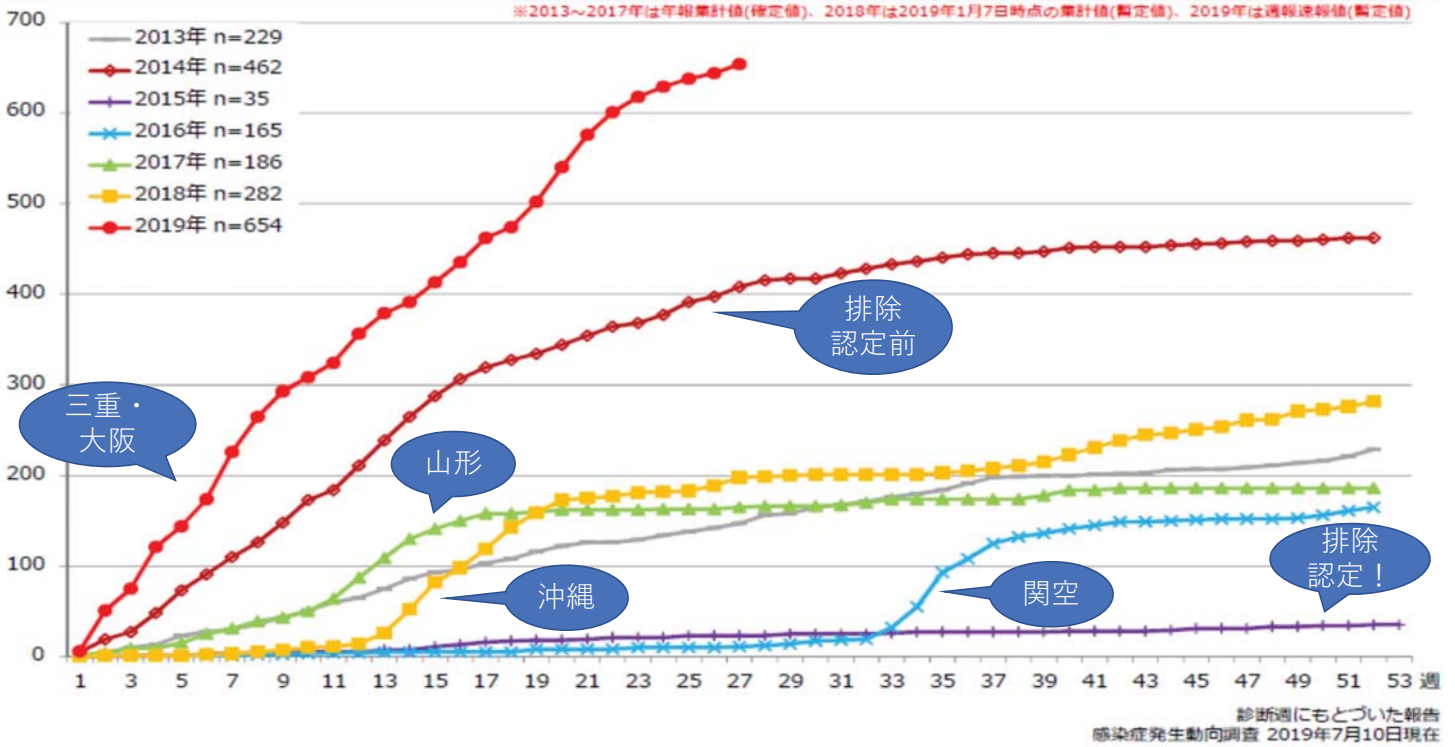
国立感染症研究所感染症疫学センター

神谷 元

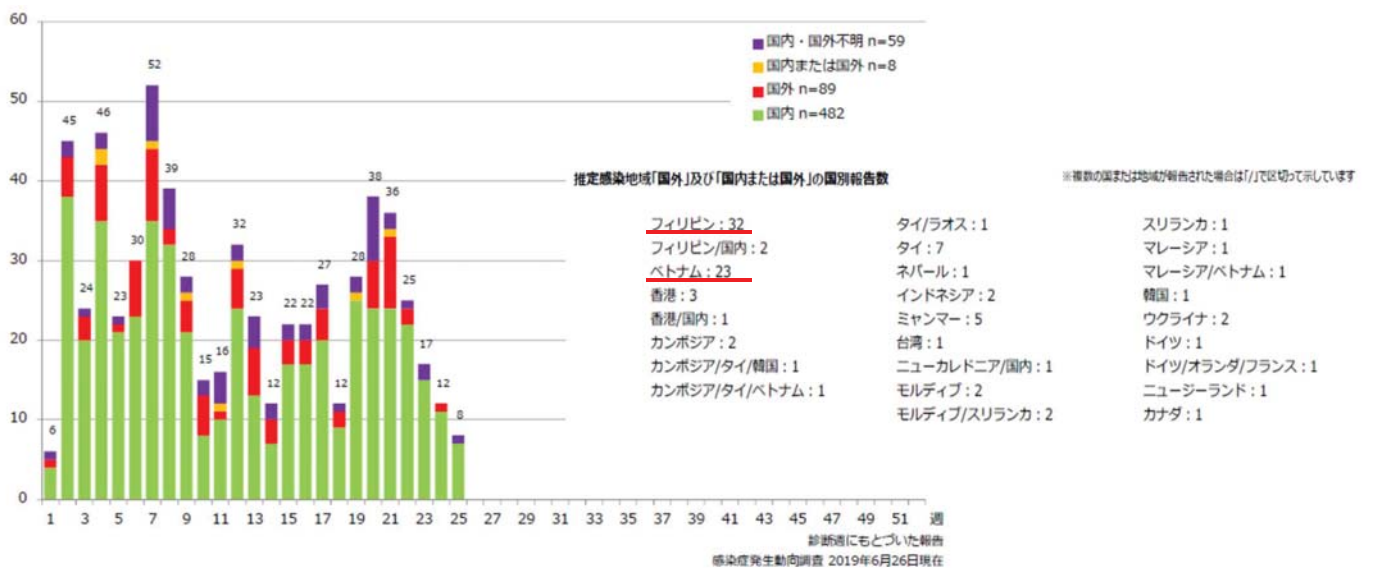
本日お話すること

- 国内の麻疹の状況
- 三重県で発生した麻疹アウトブレイク
- 今後に向けて

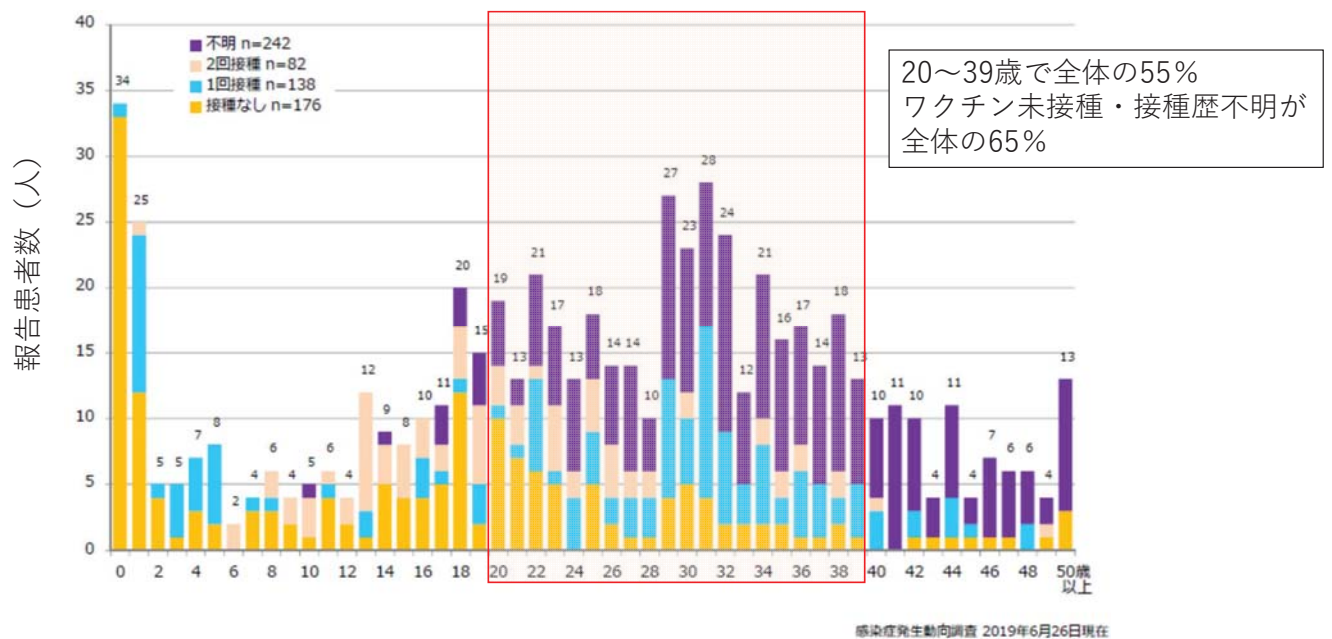
麻疹患者の報告が止まりません…



週別推定感染地域別麻疹報告数 (2019年第1～25週)



年齢群別接種歴別麻疹累積報告数（2019年第1～25週）



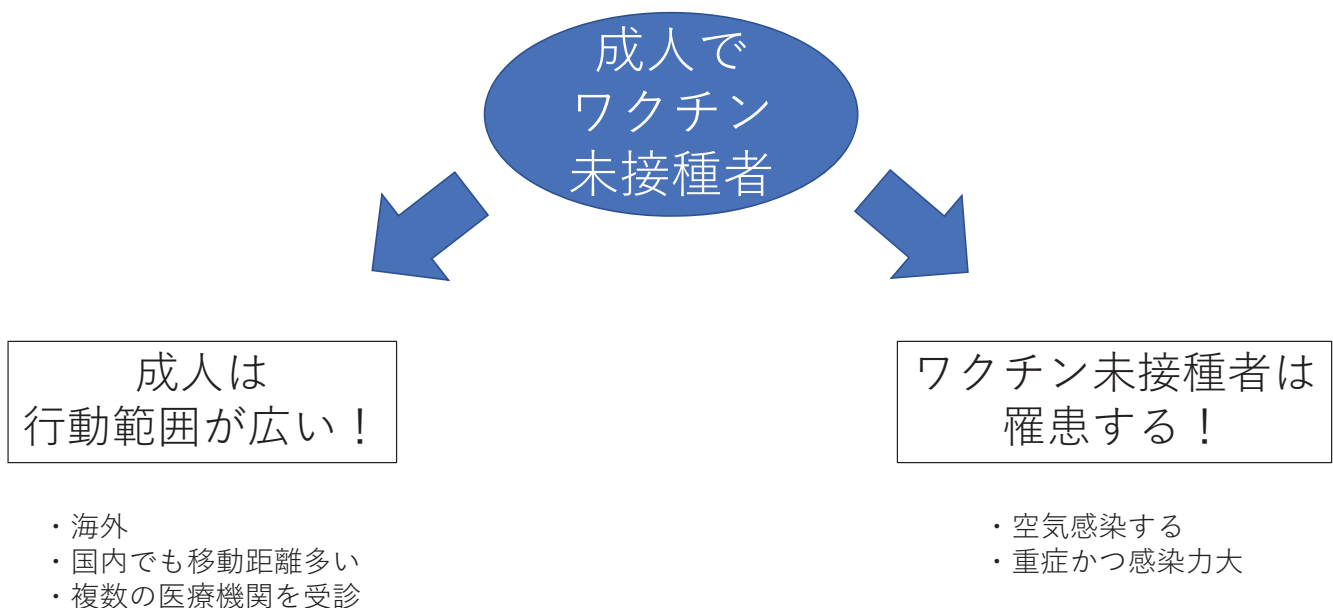
修飾麻疹が多くなってきています

- 予防接種歴があったり、移行抗体が残っている0歳前半、ヒト免疫グロブリン投与後などで、麻疹に対する免疫を持っているけれども不十分な人が麻疹ウイルスの感染を受けた際に発症
- 典型例と比較し**症状が軽い**
 - 高熱がない、発熱期間が短い、発疹が全身に出ない（あるいは認めない）
 - 臨床症状のみで診断は不可能→検査診断の重要性
- 麻疹のIgG抗体価が病初期から高値
- 麻疹のIgM抗体価が陰性であることが多い
- 濃厚接触した場合には周りへの感染源になるが、感染力は典型例ほど強くない

今の国内麻疹のキーワードは

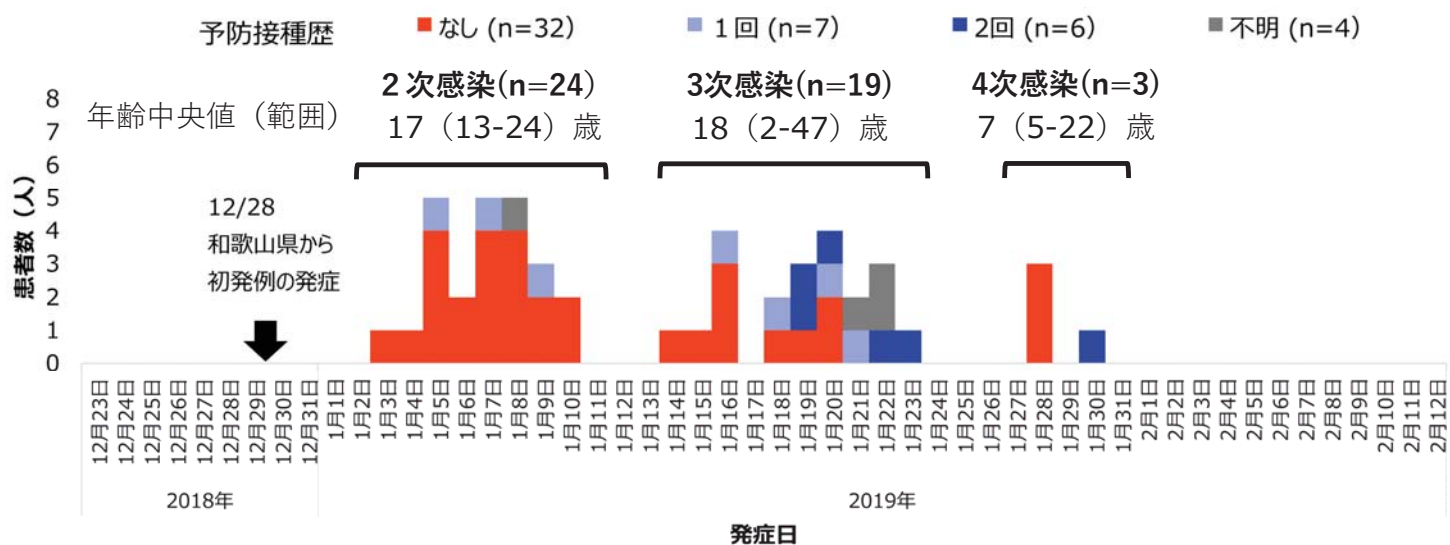
- 麻疹はもはや子供だけの病気ではない
- 海外渡航歴
- 典型的な麻疹の症状とは限らない
 - 問診、検査、疫学情報など総合的に判断していく必要性

現在の麻疹患者とアウトブレイクの特徴



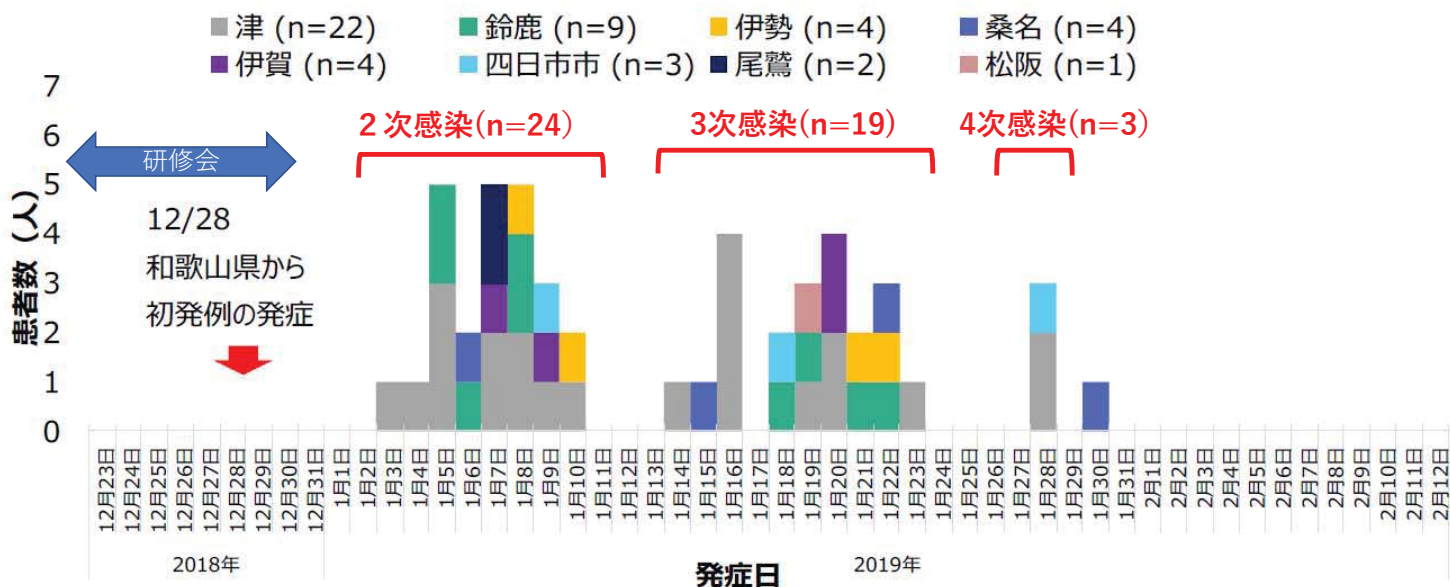
三重県内の麻疹の報告状況

(年齢内訳、クラスター別, 2018.12.23-2019.2.12, n=49)



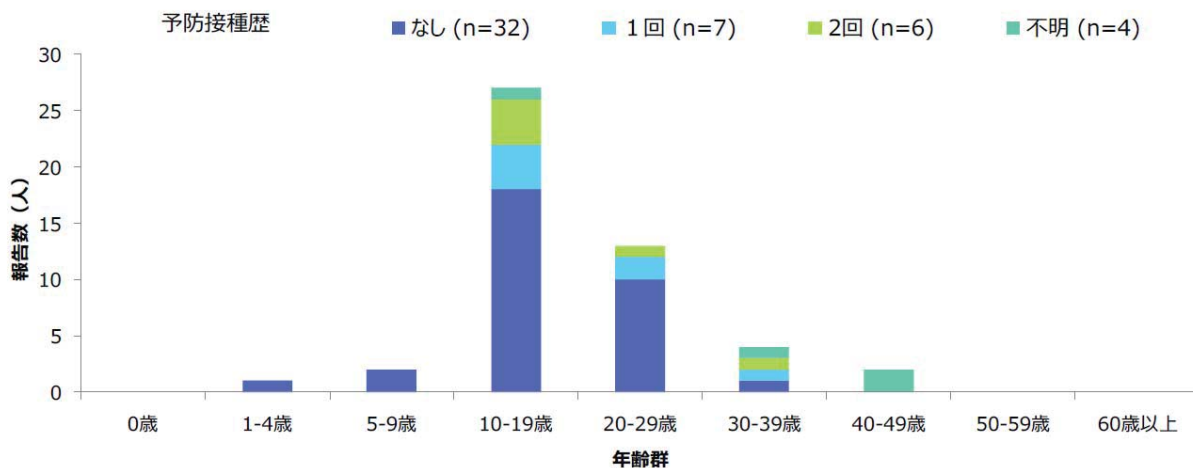
三重県内の麻疹の報告状況

(報告保健所別, 2018.12.23-2019.2.12, n=49)



三重県内の麻疹患者について

(年齢群別、予防接種歴別, 2018.12.23-2019.2.12, n=49)



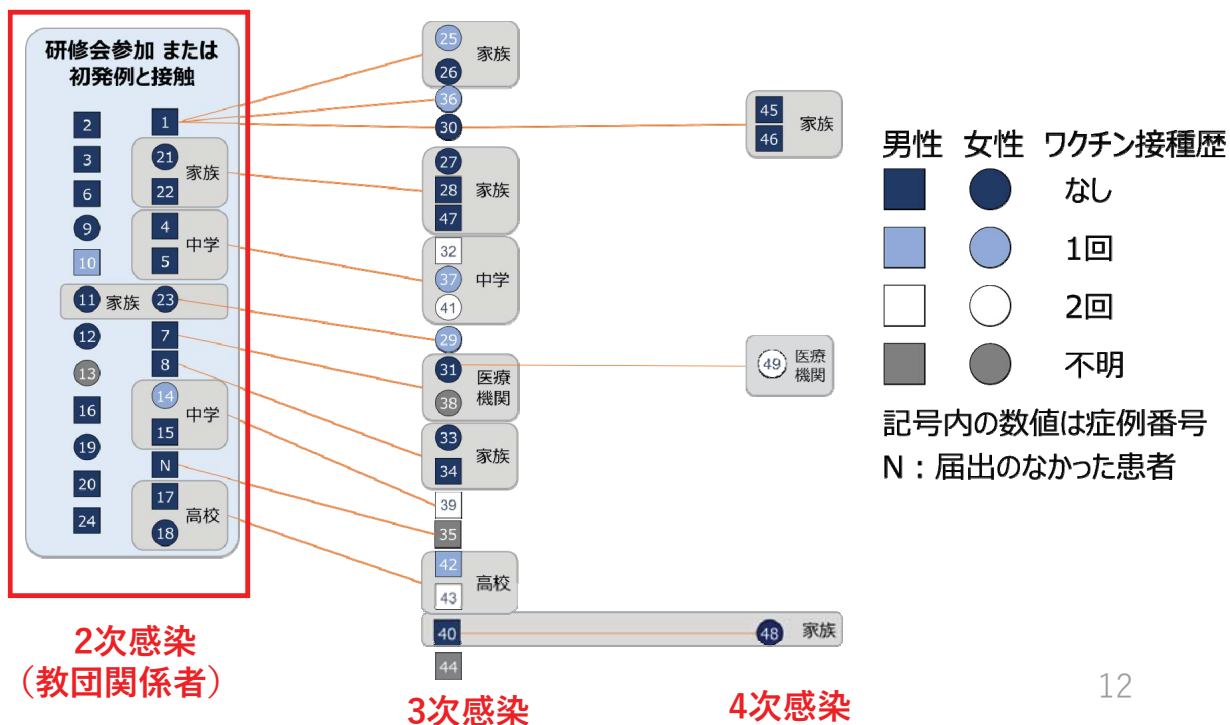
年齢中央値 (範囲) **17(2-47) 歳**

男性 (割合) **27例 (56%)**

三重県内の麻疹患者について

(推定されるリンク図、2018.12.23-2019.2.12, n=49)

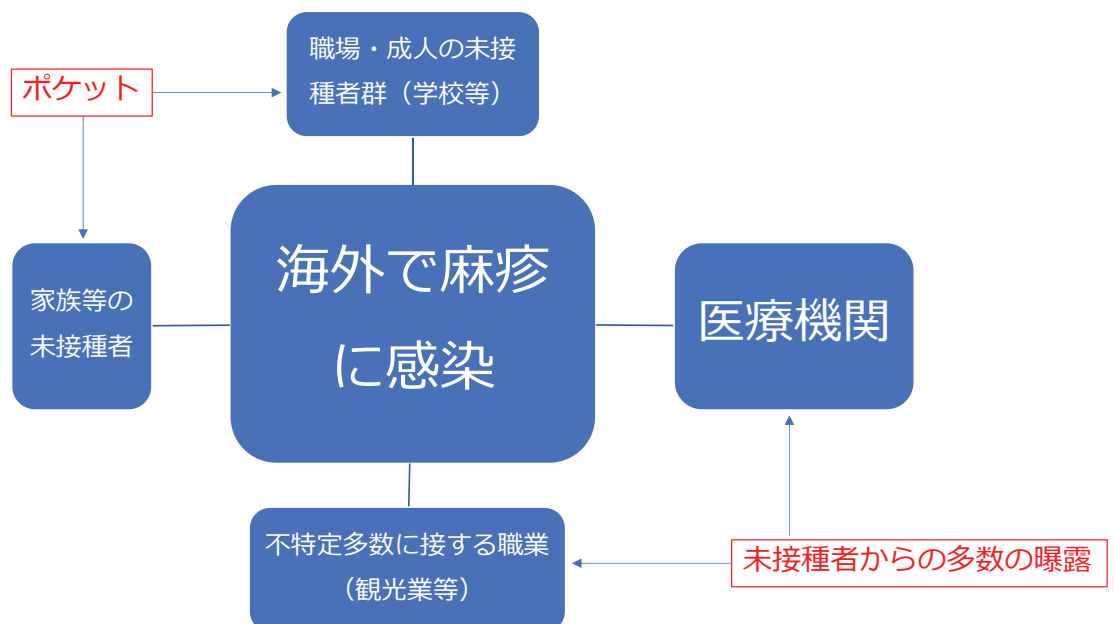
初発例は
和歌山県から報告



終息が早かった、症例が少なかった要因

- 日頃の高い定期接種（2回接種）の達成と維持
- 医療機関での2次、3次感染例が少なかった
- 様々なレベルで対応と接触者調査がしっかりと実施された

排除以後の麻疹集団発生のパターン



リスクを下げるために実施すべきこと

- 平時から感染リスク、感染源となるとインパクトのある人たちはワクチン接種（または抗体価検査）を実施する
- 「1例出たら即対応」の原則遵守
 - 接触者の把握
 - 患者の接触者への指導の徹底
- 地域での情報共有とリスク評価

15

情報共有において難しいと感じた点

- 患者の特性もあり、共有すべき情報をどのように保健所、医療機関に届けるか？
 - 青年・成人層の患者が増え、行動範囲が広いため、患者、接触者の情報を多くの自治体で共有したい
 - インフルエンザシーズンとも重なり症状のみでの麻疹患者の鑑別は困難なため医療機関に情報を届けたい
- メディアや一般からの問い合わせが多く、実務に支障が生じていた

円滑な情報共有体制の構築

県庁から定期的な情報共有媒体 (麻疹Express)の配信

- 県庁で把握している情報や県庁の対応状況などを関係者に周知するツール
- 掲載内容
 - ✓ 症例数（県内、県外）
 - ✓ 県庁の対応状況
 - ✓ 検査検体
 - ✓ 疫学情報
 - ✓ お知らせ（県庁からの伝達事項）
 - ✓ 今後の予定
 - ✓ リスクアセスメント表（後述）
- 行政機関内のみではなく、医療機関へも配信（後述）

取扱注意

三重 麻疹Express Plus α No.5 (2019年2月2日)

(県内保健所、県・郡市医師会、病院協会・各病院、小児科医会、三重大学小児科宛てに作成しております。)

本日の三重県下の麻疹患者の状況報告をします。以下の情報は、2月1日17時現在の情報をもとに記載しています。
なお、公衆衛生対策上必要と思われる報道発表の情報は含まれますので、取り扱いには十分ご配慮いただきますようよろしくお願い致します。

1) 現在の状況

- ・麻疹報告数 48例 (確定患者 42例、臨床診断例*6例)
(把握できている関連県外事例 21例) *検査未実施
- ・2月1日の新規症例 0例

2) 県下の状況について

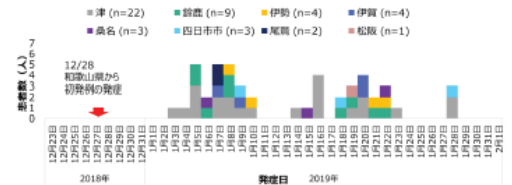
- ・宗教団体に所属する10~20代ワクチン未接種者が中心でしたが、団体とは関係のない患者が発生しています
- ・他の症例との接触(リンク)が確認できていない症例については現在調査中です
- ※県内で報告のあった集客(ワクチン接種1回)の接触者(県外在住者)の発症が報告されました(2月1日)。今後も新たな集客が発生する可能性がありますのでご注意ください。

3) 検査検体の状況

- ・2月1日 検査検体数 1件 うち陽性検体 0件
- ・2月2日 検査予定検体数 3件

4) 疫学情報のまとめ

- ・4次感染例(家族内感染)が確認されています
- ・学校や医療機関など大勢の人が集まる場所での感染が確認されています



医療機関へ情報共有、感染拡大予防の普及啓発

① リスクアセスメント表の作成、情報提供

- 医療機関が麻疹疑いで来院した患者を個々にリスクアセスメントできる情報が必要
- 保健所から感染拡大のリスクが高いと考えられる症例の情報提供を受け、県庁がまとめた
- 麻疹Expressに掲載し、医療機関に周知

医療機関へ情報共有、感染拡大予防の普及啓発


- ② 医療機関向けの啓発ポスターの作成（三重県庁Webページに掲載）
(<http://www.pref.mie.lg.jp/YAKUMUS/HP/m0068000016.htm>)

ご来院の皆様へのお願い

現在、三重県下で麻疹（はしか）患者の報告が相次いでいます

- ・発熱、発しん症状がある
- ・麻疹（はしか）と診断された方と接触があり、発熱、発しん、せき、鼻水などの症状がある

に該当する方は、必ずその旨を中に入る前に電話でお知らせください
ご協力よろしくお願いいたします



●●病院
(電話:XXX-XXX-XXXX)
××保健所

三重県内で

麻疹（はしか）が流行しています


麻疹（はしか）に特徴的な発しんの例



- ・発熱、発しん（赤いぶつぶつ）がある方
- ・麻疹（はしか）と診断された方と接触があり、発熱や発しん、せき・鼻水などの症状がある方

※必ずしも上のような症状が全て見られるとは限りません。

上記に該当する方は、必ずその旨を中に入る前に電話でお知らせ下さい



●●病院
(電話:059-000-0000)
××保健所

本事例対応のまとめ

- ・ワクチン未接種の集団における研修会において発生した麻疹集団発生事例で背景が宗教団体ということもあり、国内でも前例のない事例であった
- ・2次感染事例が多かったが、早く終息を達成したことは関係各位の対応と、定期接種の高い接種率であったと考えられる
- ・関係各位の対応により2か月ほどで事例は終息したが、特に情報共有の点で課題があった